

施工説明書・取扱説明書

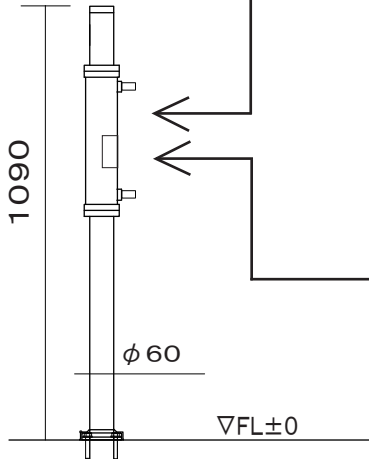
201606 巻末:生産中止後部品保有年数変更10年⇒7年 にて改訂

施工前のお願い

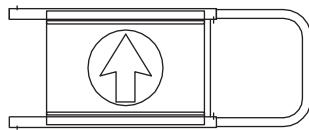
- ・取付工事は、本説明書に従い、安全作業で行って下さい。
- ・パイプゲートアンカー施工時には細心の注意にて施工して下さい。

①

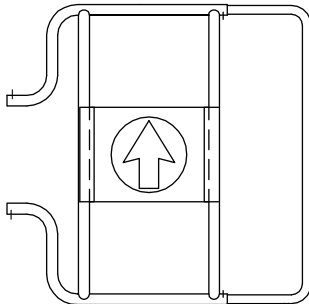
パイプゲート
PG-1※左・右



② S : スモールアーム



③ L : ラージアーム

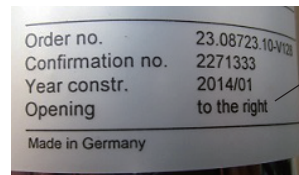


部品名称

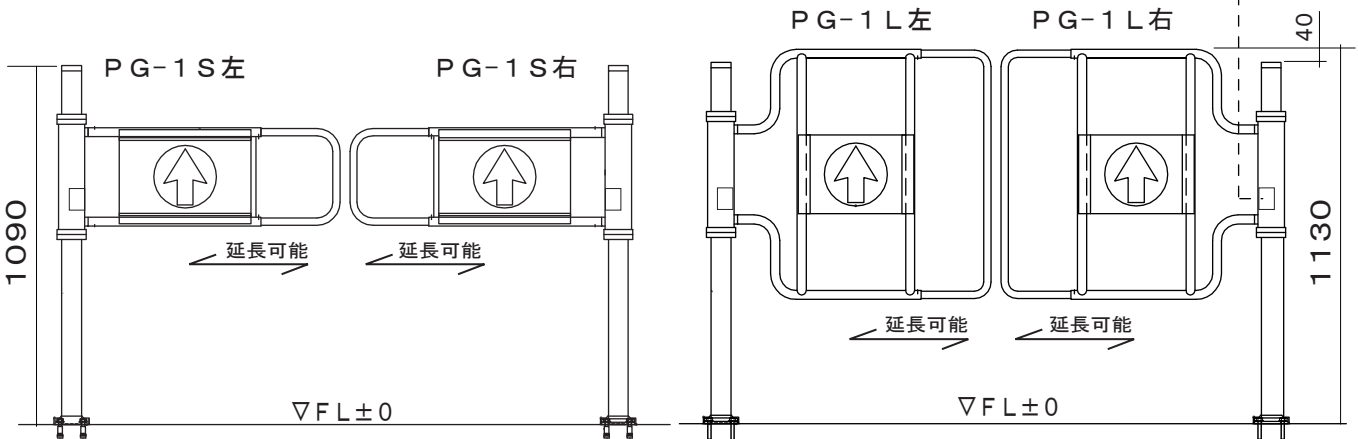
個数

①	パイプゲート(左開き/右開き仕様あり) ※固定用オールアンカー M10×60 4本、 調整用スペーサー 100×95×1.6t×2枚、 50×20×0.8t×4枚	1 SET
②	S:スモールアーム (注文時選択)	1
③	L:ラージアーム (注文時選択)	1
④	パイプフェンス用縦パイプエンドパイプ(オプション)	1
⑤	パイプフェンス用縦パイプ180° (オプション)	1
⑥	パイプフェンス用縦パイプ 90° (オプション)	1
⑦	パイプフェンス用縦パイプ135° (オプション)	1
⑧	パイプフェンス用横パイプ1000L(オプション)	1
⑨	パイプフェンス用横パイプ2000L(オプション)	1
⑩	施工説・取扱説明書	1

パイプゲート右仕様・左仕様は本体貼付のシールで判別できます

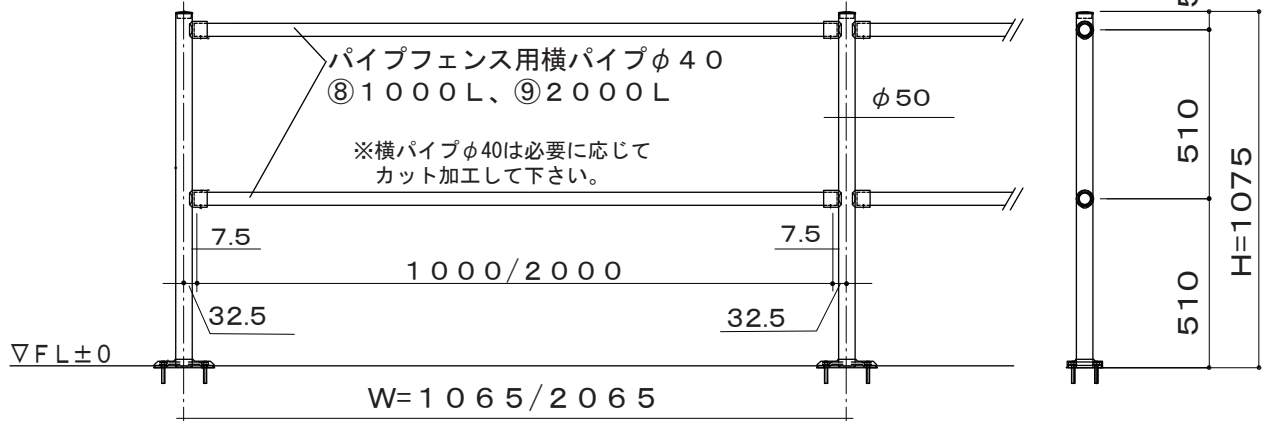


to the right
(右開き仕様)
to the left
(左開き仕様)



④ パイプフェンス用
縦パイプ エンドタイプ

⑤ パイプフェンス用
縦パイプ 180° タイプ



パイプフェンス用縦パイプには次の4種類があります (形状は上から見た場合)

④ エンドタイプ



⑦ 135° タイプ



⑤ 180° タイプ

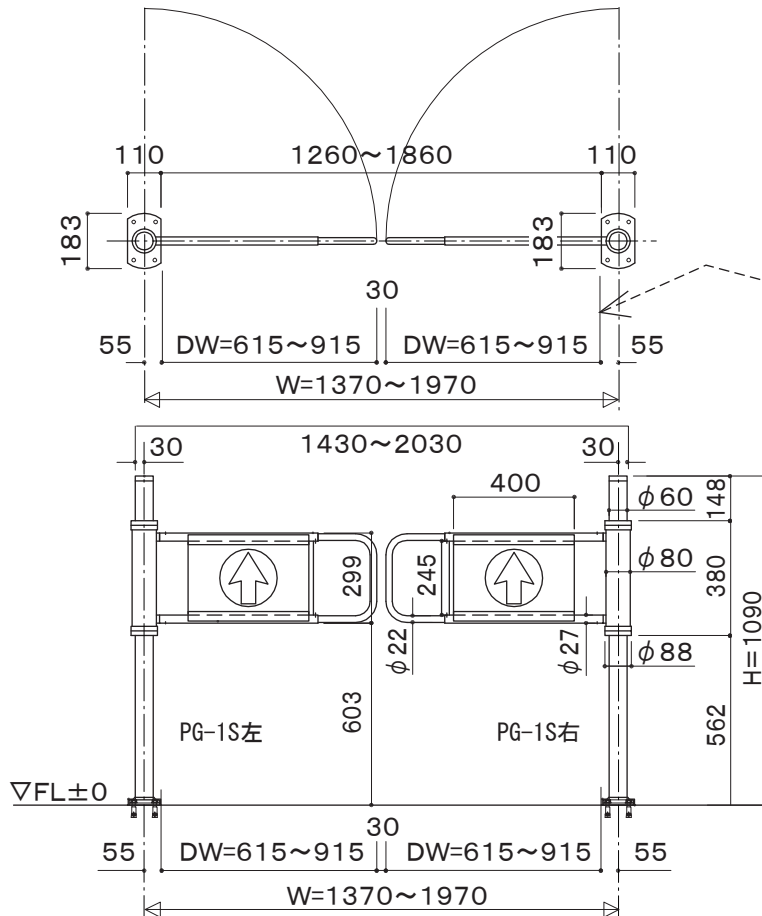


⑥ 90° タイプ



取付手順

【パイプゲート開口の確認】 施工前に下記寸法を確認して下さい。(下図はPG-1S左・右両開き仕様)



PG-1S(左・右)

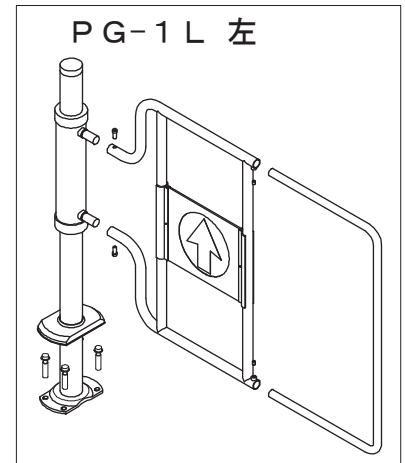
PG-1L(左・右)の取付け寸法は共通です

スモールアーム、ラージアームは
横方向に延長可能です

延長可動範囲はアンダーカバー内側より

DW=MIN615~MAX915となります

※アンダーカバー内側基準



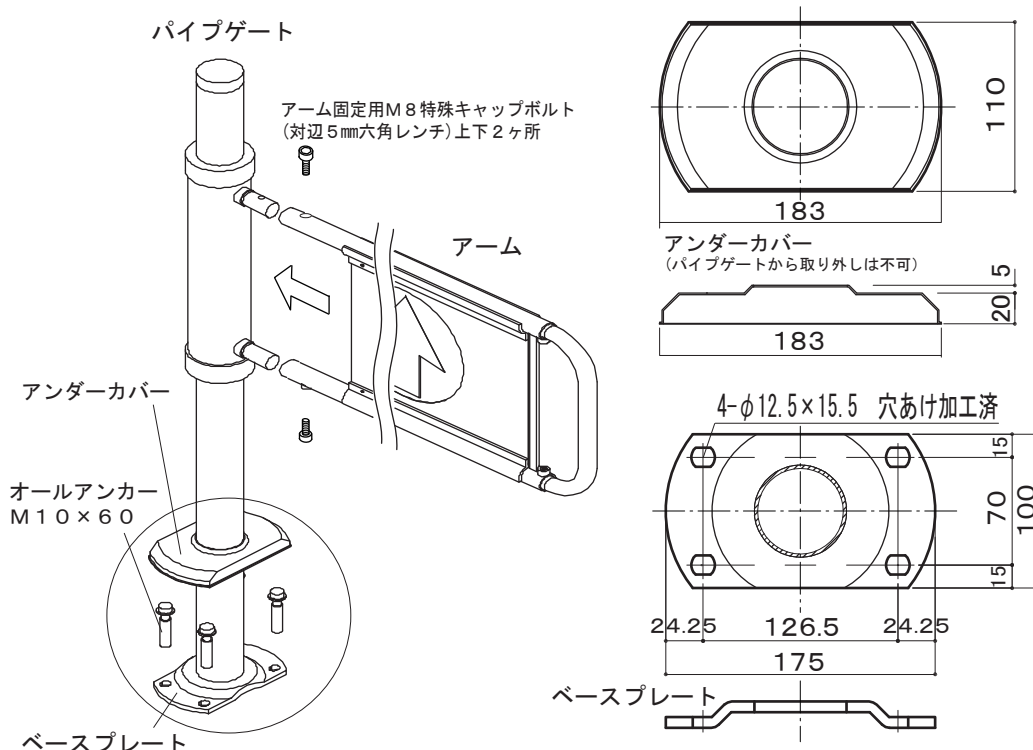
【アームの取付とパイプゲート取付位置の確認】

床に墨出しを行ってアンカー打設位置を確認して下さい。(M10×60 オールアンカー×4本付属)

最初に、パイプゲートにアームを取付けて下さい。次にアームの召し合わせを確認しながらアンカー穿孔位置を割り出して下さい。

アンカー穴施工の時には、φ5前後のコンクリートドリルにて必ず下穴を開けてからφ10.5の穿孔加工を行って下さい。

アームの召し合わせ調整がゲート本体では行えない為、アンカー固定位置での調整しか行えませんので注意して下さい。

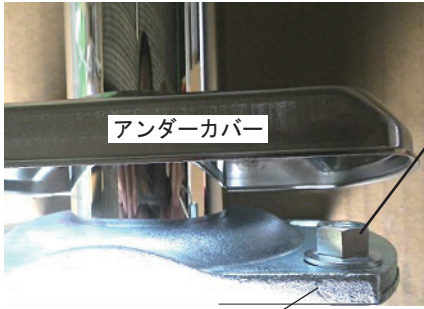


オールアンカー
M10×60
穿孔深さ
45mm以上
下穴径
φ10.5

M10オールアンカー
施工位置は左図参照
※正確に施工願います。

オールアンカーM10×60
4本は付属しておりますが
床の状況に応じて長いアンカーや
ケミカルアンカーなどを
ご使用願います。(別途)

【アンカー施工時注意点】



アンダーカバー

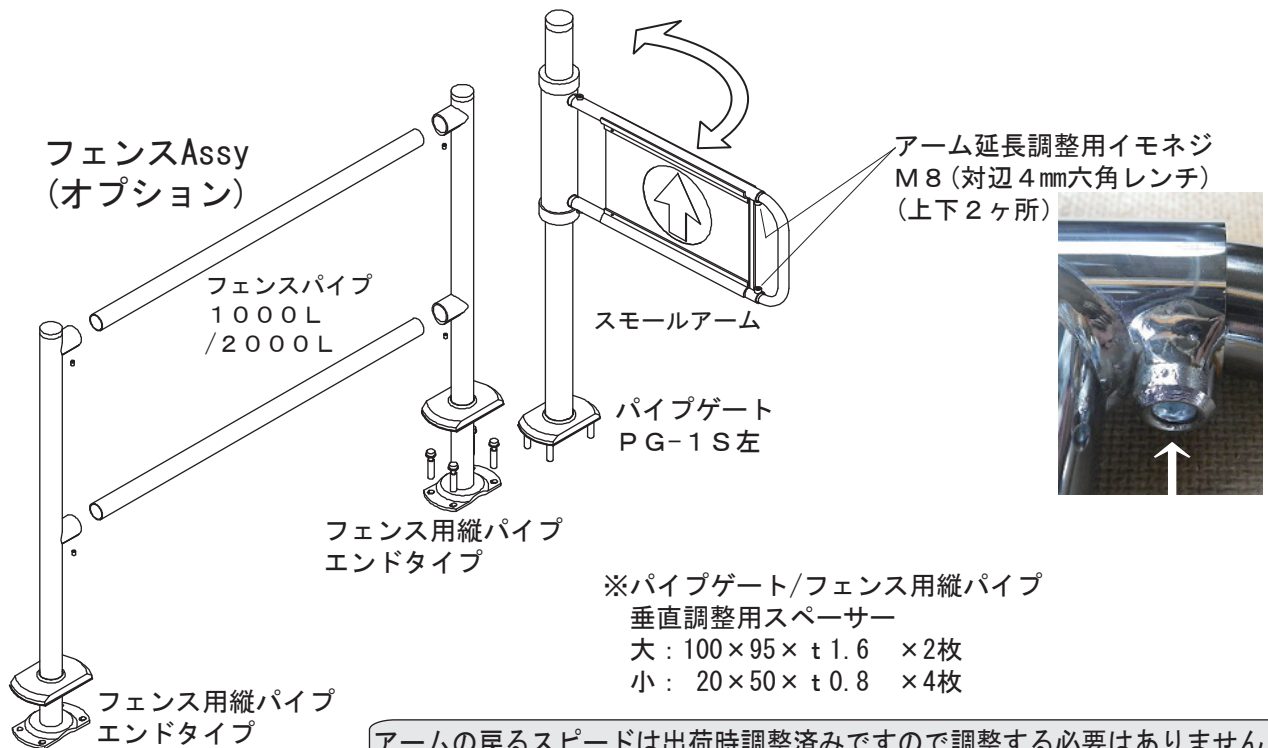
ベースプレート (t 8.0)

オールアンカーM10×60は固定ナットぎりぎりの位置まで打ち込んで下さい。
 穿孔加工の際に、φ5などで下穴を開けてからφ10.5のコンクリートドリルを使用して下さい。
 (アンダーカバー内側の逃げシロが10mm程度しかない為)
 ※アンダーカバーと床との間に隙間が生じる場合には、適宜コーキング処理などを施して下さい
 ※床面の状況に応じてアンカーの長さ・種類を考慮して下さい。
 (ロングアンカーorケミカルアンカー等)

パイプゲートもフェンス用縦パイプもアンカー施工位置は同じです。
 両開きの場合のアームの召し合わせ調整は、パイプゲート固定用アンカーボルトを緩めて行う方法しかありませんので、アンカーは正確に打ち込んで下さい。

【パイプゲート固定方法と垂直調整方法】

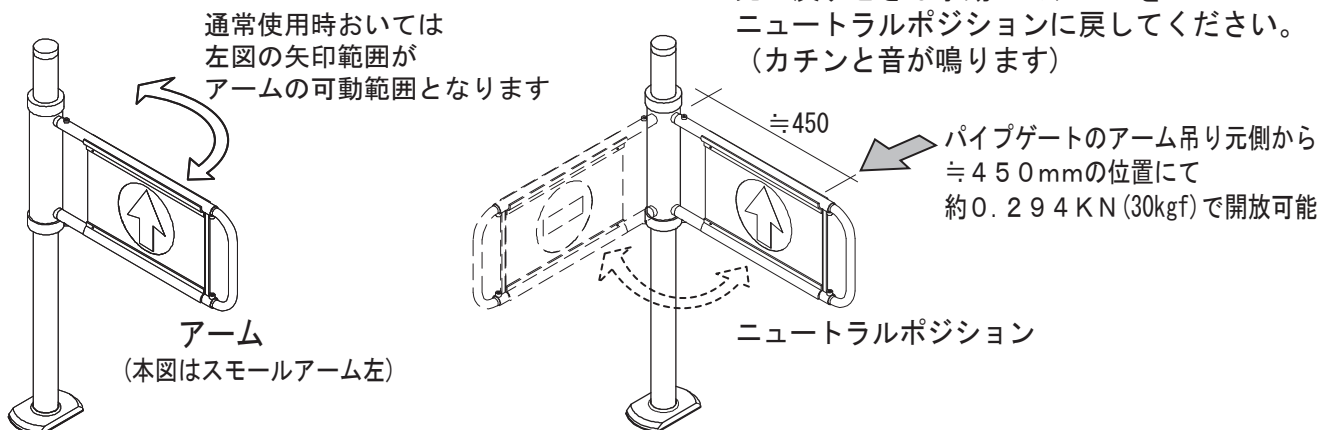
パイプゲートの垂直を確認してからアンカーナットを締めこんで下さい。
 垂直調整用の調整用スペーサーは大小2種類附属しておりますので適宜ご使用して下さい。
 アームは延長可能となっておりますのでイモネジ2ヶ所を緩めて最適位置まで伸ばした後、固定して下さい。



アームの戻るスピードは出荷時調整済みですので調整する必要はありません。

パニックオープン機構について (緊急非難時に手動にて反対方向に開く機能)

反対方向から一定以上の力でアームを押すと反対側に開ける事が可能です。
 元に戻すときは手動にてアームをニュートラルポジションに戻して下さい。
 (カチンと音が鳴ります)



取扱説明書

■安全上のご注意

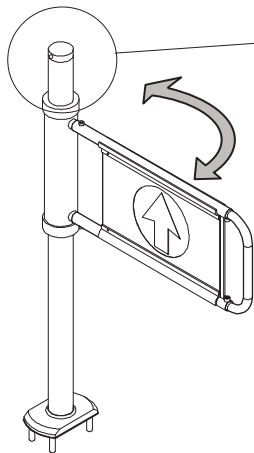
- ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用下さい。その後大切に保存し、必要な時にお読み下さい。
- 本取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に表示させていただいております。

使用方法

- パイプゲートを開ける際には安全を確かめてから開けて下さい。
- 片開きパイプゲートの場合にはアームの戸先側を、両開きの場合には開口部の中央部を押し開け、アーム可動範囲を通過するまで必ず直進して下さい。

※故障時の対処方法
○メンテナンス先にご連絡下さい。

調整方法 ※アームの戻るスピードを調整できます



パイプゲートの樹脂キャップ穴に調整用ロッド(φ8-120L)を差し込んで保持したままパイプゲート本体の固定ネジ(+)をドライバーで緩めて下さい。開閉方向と同じ方向にロッドを回すとアームの戻る速度が遅くなり、逆方向に回すとアームの戻る速度が速くなります。調整範囲は左右45°の範囲内に行ってください。最後に固定ネジを締めて下さい。※固定する際、手動ドライバーで行ってください。絶対にインパクトドライバーなどの電動工具は使わないようにして下さい。

日常点検・清掃方法

- パイプゲート及びアーム取り付けビスの緩みがないか定期的な点検して下さい。緩みがあった場合には増し締めして下さい。
- 汚れが付着しましたら薄めた中性洗剤などで拭いて下さい。シンナーなど有機溶剤系は使用しないで下さい。※常に清潔な状態でご使用下さい。

【警告】…次の注意を守らない場合には重大な事故や器物破損の可能性があります。

- 開いているアームの前で立ち止まらないで下さい。
- パイプゲートの開閉を利用して幼児や子供を絶対に遊ばせないで下さい。
- パイプゲートの開閉は静かに行ってください。足や膝で蹴るなどは絶対にやめて下さい。
- パイプゲートに台車などで衝撃を与えないで下さい。ゲートが破損・折損します。
- パイプゲート中央部又は、枠側のすきまに指や手、足などを入れないで下さい。

製品保証

- 無償保証期間：
 - 製品引渡し後1年間とします。
 - 無償保証期間中又は後で点検・修理した場合でも、保証期間は延長されません。修理交換した部品についても同様です。
- 無償保証範囲：
 - 標準仕様書、施工説明書及び取扱説明書に基づく正常な使用状態で、無償保証期間中に生じた故障、不具合は無償保証とします。但し、遠隔地や離島への出張修理の場合は、交通に要する実費を頂く場合もあります。
 - 無償保証の範囲外であっても、設計上や製造上、施工上 その他明らかに当社の責任により生じた不具合及び重大事例については無償保証扱いです。
 - 無償保証期間中に発生した不具合については、不具合箇所の交換の範囲で無償とします。
 - 無償保証期間は、当社が製品を出荷し、製品引渡し(納入)した時点から起算されます。但し、当社が施工を請負った物件については、施工完了日を起点とします。
- 無償保証除外項目：
 - 顧客の使用上の操作誤りによる故障、製品への損傷。
 - 顧客の不適切な修理や改造による故障、製品への損傷。
 - 製品仕様を外れた特殊な環境下(塩害、亜硫酸ガス、酸、アルカリ、オゾン、有害な粉塵等)での使用による故障、製品への損傷。
 - 製品の許容仕様範囲を超える状況下(異常な温度・湿度、過度の開閉角度・開閉頻度、長時間の水浸等)での使用による故障、製品への損傷。
 - 天災地変(火災、地震、風水害、凍結等)による故障、製品への損傷。
 - 消耗部品の故障、損傷。
 - 製品の納入(販売)のみで、当社が施工を請負っていない場合で、施工上の問題と思われるもの。
 - 特注仕様製品で当社品質部門が品質保証しない製品の故障、製品への損傷。
 - 予め使用環境及び使用方法に問題があると、当社より申し入れたのにも拘わらず、顧客の要請で出荷した製品及び施工をした製品の故障、製品への損傷。
 - 製品引渡し後の、輸送・移動・落下・移設等による故障、製品への損傷。
- 生産中止後の有償修理期間：
 - 製品の生産中止後7年間は、有償修理工事及び修理用部品の受注受付は可能です。7年間を超えますと受注受付できない場合もあります。生産中止の情報は、当社セールスとサービス等から報じさせていただきます。
- 輸出製品に関する特例事項：
 - 海外輸出品については、当社と輸出版売店間で「取引基本契約書」を取交し、製品保証範囲を規定します。「取引基本契約書」を取交していない製品については、製品保証は対象外とします。

施工に関する問い合わせ先

株式会社 **ユニフロー** エンジニアリング部

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-30-4 BR五反田 TEL.(03)5719-6700 FAX.(03)5719-6699

フリーダイヤル 東日本 ☎ 0120-504-226 西日本 ☎ 0120-590-226

<http://www.uniflow.co.jp>

PG-1S・L 施・取 1版1606